

つくしだよりから

天使が心に宿っています

まだ涼しさの残る朝のお庭から

今日も子どもたちの声がこだまする

広い園庭も足りぬほど元気に走り回る幼児さん

一方、乳児さんは年齢に応じて精一杯体を使い
すべり台、お砂遊び、おままごと…

そうそう、昨日は力を合わせ何か作っていたねえ

年長さんがバケツで土を運んでくれました

踏み固めるのは乳児さん だんだん高くなり

そうしてついに、いつものお庭に築山が出現

まあ、びっくり！

ここでこれから、どんな遊びが展開するのだろうか
きつと思ってもよらぬこと、心わくわくさせること

でも、楽しみにしているのは私たち大人だけかも
しれません。子どもたちはもうすでに今この瞬間

も、十分楽しんでいます。

目の前に現れるすべてを全身で受けとめる

目の前のすべてのものが不思議を宿している

茎をのほりお花の中に落ちるアリさん

大丈夫？ いま助けてあげるからね」

風を受け、うねりをあげる寒冷紗

「わあ大変、黒いお空が落ちてくる」

そして、このたび登場したお山を

何度も行ったり来たりしているうちに

君たちの心の中の天使たちはもうすでに

神さまと不思議の物語を紡いでいるのでしよ

う度また、少しだけそのお話、聞かせてくださ

いね。

言っておくが

彼らの天使たちは、天でいつも

私の天の父のみ顔を仰いでいるのである」

マタイ 一八・二〇